【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和４年９月６日(２０２２.９.６)

【国際公開番号】ＷＯ２０２０/０５５８１２
【公表番号】特表２０２２-５００００７８(Ｐ２０２２-５００００７８Ａ)
【公表日】令和４年１月４日(２０２２.１.４)
【出願番号】特願２０２１-５３８１７０(Ｐ２０２１-５３８１７０)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ １５/１２(２００６.０１)
Ａ６１Ｋ ３８/１６(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ １１/００(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ ２９/００(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ １/１６(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ ９/００(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ １３/１２(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ ２７/０２(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ ３１/００(２００６.０１)
Ａ６１Ｐ １１/０６(２００６.０１)
Ａ６１Ｋ ４５/００(２００６.０１)
Ｃ０７Ｋ ７/０６(２００６.０１)
Ｃ０７Ｋ ７/０８(２００６.０１)
Ｃ０７Ｋ １４/４７(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ １５/１２
Ａ６１Ｋ ３８/１６
Ａ６１Ｐ １１/００
Ａ６１Ｐ ２９/００
Ａ６１Ｐ １/１６
Ａ６１Ｐ ９/００
Ａ６１Ｐ １３/１２
Ａ６１Ｐ ２７/０２
Ａ６１Ｐ ３１/００
Ａ６１Ｐ １１/０６
Ａ６１Ｋ ４５/００
Ｃ０７Ｋ ７/０６ ＺＮＡ
Ｃ０７Ｋ ７/０８
Ｃ０７Ｋ １４/４７

【手続補正書】
【提出日】令和４年８月２９日(２０２２.８.２９)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＡＳＦＴＴＦＴＶＴ（配列番号３）のアミノ酸配列を含むペプチドであって、配列番号１との同一性を欠く少なくとも１つのＮ末端および／またはＣ末端付加を含む、前記ペプチ

ド。
【請求項２】
前記ペプチドが、
（ａ）Ｎ末端に付加された少なくとも１つのアミノ酸；
（ｂ）Ｃ末端に付加された少なくとも１つのアミノ酸；または
（ｃ）Ｎ末端及びＣ末端に付加された少なくとも１つのアミノ酸、
を含む、請求項１に記載のペプチド。
【請求項３】
前記ペプチドが、
（ａ）Ｌ－アミノ酸；
（ｂ）Ｄ－アミノ酸；または
（ｃ）Ｌ－アミノ酸及びＤ－アミノ酸、
を含む、請求項１または請求項２に記載のペプチド。
【請求項４】
前記ペプチドが、
（ａ）少なくとも１つの非標準アミノ酸；または
（ｂ）２つの非標準アミノ酸、
を含む、請求項１または請求項２に記載のペプチド。
【請求項５】
前記非標準アミノ酸がオルニチンである、請求項４に記載のペプチド。
【請求項６】
前記ペプチドが、
（ａ）Ｎ末端修飾；
（ｂ）Ｃ末端修飾；または
（ｃ）Ｎ末端及びＣ末端修飾、
を含む、請求項１に記載のペプチド。
【請求項７】
前記Ｎ末端修飾がアシル化であるか、そして／あるいは前記Ｃ末端修飾がアミド化である、請求項６に記載のペプチド。
【請求項８】
前記ペプチドがＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳ（配列番号４）、ＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳ－ＮＨ２（配列番号５）、ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ（配列番号６）、ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号７）、ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号８）、ＯＡＳＦＴＴＦＴＶＴＯＳ（配列番号９）、またはＯＡＳＦＴＴＦＴＶＴＯＳ－ＮＨ２（配列番号１０）のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のペプチド。
【請求項９】
前記ペプチドがアミノ酸配列Ａｃ－ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号８）を含むか、または、前記ペプチドがアミノ酸配列Ａｃ－ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号８）から成る、請求項１に記載のペプチド。
【請求項１０】
細胞透過性ペプチド（ＣＰＰ）をさらに含む、請求項１に記載のペプチド。
【請求項１１】
ＣＰＰが、ＧＲＫＫＲＲＱＲＲＲＰＰＱ（配列番号２１）、ＲＱＩＫＩＷＦＱＮＲＲＭＫＷＫＫ（配列番号２２）、及びＧＩＧＡＶＬＫＶＬＴＴＧＬＰＡＬＩＳＷＩＫＲＫＲＱＱ（配列番号２３）から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項１０に記載のペプチド。
【請求項１２】
前記ペプチドがカベオリン－１（Ｃａｖ－１）の生物学的活性を維持する、請求項１に記載のペプチド。

【請求項１３】
請求項１に記載の少なくとも２つのペプチドを含むペプチド多量体。
【請求項１４】
前記少なくとも２つのペプチドの第１のペプチドが、前記少なくとも２つのペプチドの第２のペプチドと本質的に同一である、請求項１３に記載のペプチド多量体。
【請求項１５】
前記少なくとも２つのペプチドの第１のペプチドが、前記少なくとも２つのペプチドの第２のペプチドと同一ではない、請求項１３に記載のペプチド多量体。
【請求項１６】
請求項１に記載のペプチドを含む組成物。
【請求項１７】
前記ペプチドが実質的に純粋であるか、または少なくとも９８％純粋である、請求項１６に記載の組成物。
【請求項１８】
前記組成物が請求項１に記載のペプチドから成る、請求項１６に記載の組成物。
【請求項１９】
請求項１に記載のペプチド及び薬学的に許容可能な担体を含む薬学的組成物。
【請求項２０】
前記薬学的組成物が、経口、静脈内、関節内、非経口、経腸、局所、皮下、筋肉内、頬側、舌下、直腸、膣内、陰茎内、眼内、硬膜外、頭蓋内、または吸入投与用に処方される、請求項１９に記載の薬学的組成物。
【請求項２１】
前記薬学的組成物が肺点滴注入用に処方される、請求項１９に記載の薬学的組成物。
【請求項２２】
前記組成物または薬学的組成物がネブライザー溶液として処方される、請求項１６に記載の組成物または請求項１９に記載の薬学的組成物。
【請求項２３】
請求項１に記載のペプチドをコードする核酸配列を含む、ポリヌクレオチド。
【請求項２４】
請求項１に記載の有効量のペプチドを含む、対象の疾患を処置または予防するための薬学的組成物。
【請求項２５】
前記疾患が線維性または炎症性疾患である、請求項２４に記載の薬学的組成物。
【請求項２６】
前記対象が器官線維症を有し、任意に、前記器官線維症が、腎臓、肝臓、肺または心臓の線維症である、請求項２５に記載の薬学的組成物。
【請求項２７】
前記疾患が炎症性眼疾患である、請求項２４に記載の薬学的組成物。
【請求項２８】
前記対象が肺の炎症、慢性閉塞性肺障害（ＣＯＰＤ）、肺感染症、化学物質誘発性の肺損傷、鋳型気管支炎、喘息、急性呼吸窮迫症候群（ＡＲＤＳ）、吸入煙誘発性急性肺損傷（ＩＳＡＬＩ）、細気管支炎、閉塞性細気管支炎、肺の線維性状態、間質性肺疾患、特発性肺線維症（ＩＰＦ）または肺瘢痕を有する、請求項２４に記載の薬学的組成物。
【請求項２９】
前記対象が化学療法または放射線療法を受けている、請求項２４～２８のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３０】
前記薬学的組成物が、噴霧された溶液として前記対象に投与される、請求項２４～２９のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３１】

前記薬学的組成物が全身投与されるか、または病変組織に局所的に投与される、請求項２４～３０のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３２】
少なくとも１つの追加の治療薬を投与することをさらに含む、請求項２４～３１のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３３】
前記少なくとも１つの追加の治療薬が、非ステロイド性抗炎症薬（ＮＳＡＩＤ）、ステロイド、疾患修飾性抗リウマチ薬（ＤＭＡＲＤ）、免疫抑制剤、生物学的応答モジュレーター、または気管支拡張剤である、請求項３２に記載の薬学的組成物。
【請求項３４】
前記対象がヒトである、請求項２４～３３のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３５】
前記ペプチドがアミノ酸配列Ａｃ－ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号８）から成る、請求項２４～３４のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３６】
前記ペプチドが、肺上皮細胞の細胞生存率を増大させる、請求項２４～３５のいずれか一項に記載の薬学的組成物。
【請求項３７】
Ａｃ－ａａＥＧＫＡＳＦＴＴＦＴＶＴＫＧＳａａ－ＮＨ２（配列番号８）のアミノ酸配列から成る、ペプチド。